



日中はだいぶ暖かになってまいりました。保護者の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃は本校教育にご理解・ご支援をいただき深く感謝申し上げます。

今年度も残すところ少しとなりました。6年生の卒業を祝う校内の掲示を見ると、よくがんばったね、おめでとうと思うとともに寂しさもこみ上げてきます。6年生の卒業まであとわずか。

6年生に校長室掃除に来てもらった時に、「国府小学校の自慢できるところは。」「6年生として頑張っていることは。」と、尋ねて紙に書いてもらい、それを校長室に貼っていました。どの子も、いろいろ考え、たくさん書き込んでいました。

*自慢できるところは

- ・みんなが明るく笑顔であること
- ・元気に挨拶ができること
- ・いじめもなく、みんなが仲がいいところ
- ・マーチングが金賞をとり上手なこと
- ・小さい子に優しいところ など

*頑張っていることは

- ・勉強（特に苦手な教科）
- ・低学年のお手本になること
- ・困っている子がいたら声をかけ優しくする
- ・集団登校で、みんなを学校まで連れてくること など

私自身この時期、花粉症でくしゃみの連続ですが、保護者の皆様も、どうぞお身体をご自愛ください。



6年生を送る会

3月1日（金）の、2・3時間目に、体育館で5年生の児童会役員を中心に、6年生を送る会を実施しました。2時間目は、1・2年生、5年生と6年生。3時間目は、3・4年生、5年生と6年生が行いました。2回に分けましたが、顔を見ながら集会が行えるのは、とても嬉しく思いました。

どの学年も、感謝の気持ちを大きな声で発表し、心を込めて、歌や演奏を披露しました。この日のために、何回も練習をし、当日はみんな上手にできていました。6年生からも大きな拍手をもらい嬉しそうでした。6年生へ、感謝の気持ちを込めて作ったプレゼントを渡すと、6年生もニコニコしてもらっていました。「ありがとうございます。」と大きな声でプレゼントをもらっている児童もいて、素敵でした。また、6年生からも、在校生へ、メッセージや演奏・プレゼントを送りました。

6年生を送る会に参加して、この会は6年生との「思い出をつくる会」と同時に、6年生が守ってくれた国府小学校の伝統や取組を、5年生を中心に「引き継ぐ会」と思いました。さらに、6年生へ、そしてみんながお互いにお世話になったことへの「感謝の気持ちを伝えあう会」でもありました。

5年生は、準備から当日の司会・運営も全て行いました。6年生のために、できることを全力で頑張っている5年生の姿に、責任感と、来年最高学年になるという決意を感じました。この会を企画してくれてありがとう。

6年生に感想を聞くと、「みんなが応援してくれているので中学校でもがんばります。」「5年生にバトンはしっかりわたせます。」「ありがとう。」と言っていました。「6年生を送る会」を見ていて、1年前に比べると、子供たちは確実に心身共に成長しています。友と一緒に考え、学び活動することはやはり素晴らしいことだと感じました。



新入生入学体験

2月22日（木）に、新入生の入学体験を行いました。1年生の教室に、新入生が入ってくるのを、今か今かと1年生はわくわくしながら待っていました。「上手にできるかな。」「楽しみ。」「1年前は自分がそうだったんよな。」「もうすぐ来る。」それぞれの子供たちは思い思いの気持ちをもちながら。



最初は、小学校生活について、話をしたり、クイズを出したり、歌を歌ったりしました。その後、自分たちのランドセルを持ってきて、荷物を詰め込む練習をしたり、背負ってみて重さ体験もしたりしました。「うわ、重たい。」と言っている新入生もいました。



そして、自分の席に座らせてあげて、鉛筆をもってなぞり書きの練習や、色鉛筆で色塗りをしました。1年生は、そっと横に寄り添い、優しくアドバイスをしたり、お話をしあげたりしていて、見ている私も笑顔になっていました。本当にほのぼのとしていました。

1年生は、自信をもって、堂々とお兄ちゃん・お姉ちゃんとして、新入生のお世話をしていました。新入生の皆さんは1時間「楽しかった。」「もっと居たかった。」「1年生になったら来ます。」と言って帰りました。1年生は、やり遂げた満足感と、ちょっと先輩感を出せて、満面の笑顔でした。やはり、人と人が交流することは、心も身体も成長させると感じました。1年生の皆さんに「よく頑張りましたね。」と言うと、大きな声で「はい。」と返ってきました。



スクールガード ありがとうございます

長年、スクールガードとして、子供たちを見守ってくださっている石田勇様が、「徳島県学校保健・安全功労者」として表彰されました。現在は府宮神社の近くで立ってくださり、子供たちに、「おはよう。気をつけて行ってらっしゃい。」といつも声をかけてくださっています。雨の日も、風の日も、暑い日も、寒い日も、・・・最後の子が通り過ぎるまで待ってくださっています。頭が下がります。



「子供たちは、本当にかわいいよ。挨拶もしてくれるよ。」

子供たちを見守ってくださる方々のおかげで、安全に登校できていると再確認しました。

卒業まであと・・・

卒業式が近づき、周りの景色にも、そして、学校内にも6年生を送り出す雰囲気が高まってきました。いよいよ6年生の皆さんが小学校を卒業する日が近づいてきました。

6年生は、どんな時もめげず、立ち直りも早く、笑顔やユーモアもあり、そして友達と協力し合って、何事も乗り越えて来たように思います。言い換えると、いろいろな困難と一緒に乗り越えてきたからこそ、今の成長した6年生がいるのだと思います。その成長には、6年生が頑張ったことが一番の功績ですが、保護者の皆さま、先生方のお陰もあることを予行の時にお話ししました。そして、陰になり日向になり、いつも担任の姿があり、6年生を支えていたことも伝えました。

卒業式の当日、在校生は式に参加はできませんが、集会や休み時間に一緒に遊んで、それぞれの子どもたちの心にたくさんの思い出を刻んでいることと思います。

小学校生活を、悔いのないように過ごして欲しいと思います。



こくフクロウ